

CASBEE 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築(2011年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都医療用酸素(株)	階数	地上3F
建設地	京都市伏見区横大路一本木町42-1-43・19-44	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	90人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,100時間/年
建物用途	事務所, 工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年3月 0.0	評価の実施日	2013年5月1日
敷地面積	3,160 m ²	作成者	大澤秋雄
建築面積	719 m ²	確認日	2013年7月1日
延床面積	2,039 m ²	確認者	掛谷建郎



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.2

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.7

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
建物周囲に駐車場を配し、周辺空間の確保、敷地周囲の緑化に務める。 機能的なプランニングとし、コミュニケーションを重視したワークスペースを創る。	特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 共用スペースにゆとりをもたせる。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル 周辺環境への日照に配慮する。
	Q3 室外環境(敷地内)
	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される